

平成 20 年度 県北・沿岸振興支援事業

平成 20 年度 調査研究成果等活用促進事業		
申請者	実証のテーマ・取組みの概要	助成額
大黒醤油株式会社 代表取締役 坂本 剛 (軽米町)	実証のテーマ：岩手県北産の雑穀を使用した五穀麴味噌の製造開発 取組みの概要：もちあわ、もちきびの工業的製麴法を共同事業者から事業主体に技術移転し、さらに共同で企業の設備に合わせた調整を行う。これによって造った雑穀麴に従来の米麴を配合した味噌の製造試験を行い、ひえ味噌（100%ひえ麴使用）よりも価格が安い五穀麴味噌の製造販売につなげる。	1,200,000
石村工業株式会社 代表取締役社長 石村 眞一 (釜石市)	実証のテーマ：産業化を考慮したワカメおよびコンブの高速塩漬方法の開発および該塩漬で生じる塩水廃棄物の有効利用法の検討 取組みの概要：湯通し塩蔵海藻製品の出荷基準に適合した最適な塩漬条件を確立する。また、湯通し塩蔵海藻製品の製造に用いた飽和食塩水から調製した食塩（藻塩）のミネラル成分等の品質の把握と栄養学的な特徴を考慮した食品への利用法を検討する。	2,400,000
大野木工生産グループ 工房森の詩 中村 隆 (洋野町)	実証のテーマ：ユニバーサルデザイン木工保育給食器の事業化可能性の実証 取組みの概要：ユニバーサルデザインを導入した保育給食器について、モニター調査を行い、製品開発に反映させるとともに、木工食器導入による教育的効果を広く PR することにより、新たな販路を開拓し、産業化を進めるための取組みを行う。	960,000
平成 20 年度 観光総合産業化モデル支援事業		
事業主体	取組みの概要	助成額
みやこ食品加工・販売 研究会 (山田町)	会員が連携して、カタログ販売の実施や昆布等の地域特産の原材料を活用した新たな加工品の開発により販路拡大を図るとともに、消費地において販売会等を実施し、宮古地方の食文化 PR による観光客誘致を図る。 (1) 会員が顧客情報を共有・協力して直販するカタログ販売の実施 (2) 地元の特徴的な農林水産物を使った新商品の開発 (3) 三陸鉄道の主要駅や道の駅における試食会及び店頭販売の実施による観光客誘致の取組み実施	1,669,000
協同組合宮古市魚菜市场	圏域外の市場との相互物産交流による物販増及び観光客増の仕組みづくりを行う。 (1) 高知市ひろめ市場及び秋田市民市場との相互物産交流の実施、継続的な取引に向けた検証 (2) 旬の食材提供と観光客誘致のための PR (3) 食材・調理方法等の PR、情報発信	1,387,000
社団法人川井村産業開発公社 (宮古市)	赤紫蘇を活用した新商品開発、PR 及び新規取引先の拡大 (1) 新商品開発 ① 紫蘇梅ドリンク	1,500,000

	<ul style="list-style-type: none"> ② 紫蘇酢 ③ 赤紫蘇ゆかり関連商品（ふりかけ） <p>(2) PR 及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新聞広告及びパンフレットの作成 ② 関東、東北、関西、中部への販売活動 	
<p>特定非営利活動法人久慈地域観光協議会</p>	<p>久慈地域を訪れる旅行者を地域内で回遊させ観光消費額の向上を図るため、駅を中心とする街なかの商店や施設等からの情報を基に、周辺散策に必要なガイドマップの作成等を行い、街なか観光による地域経済の活性化モデルを創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地元の商店や施設等から集める情報を基に、街なか観光のコンセプトを地域ごとに決定し、旅行者が街なかを散策するために必要なマップ等のツールを作成 (2) 旅行者の街なか観光を促すための移動手段等を提供するための仕組みづくり (3) 旅行エージェントや旅行者に対する情報発信 	<p>1,000,000</p>